資料　4

南渡島保健医療福祉圏域連携推進会議　歯科保健医療専門部会

日時　令和３年３月　書面開催

１　報告事項

（１）フッ化物洗口にかかるフッ化ナトリウム試薬の劇物指定について

（２）歯科衛生士の確保等にかかる意見交換の実施結果について

（３）糖尿病連携手帳の提示促進資材（三角柱）活用状況調査について

【委員の意見等】

・（３）三角柱を受付に置いているが、質問や提示は一度もない。周知内容･方法に検討の必要はないか？患者さん自身が必要性を感じていないような気がする。患者さんに歯周病と糖尿病の関係を説明したところ「目じゃなくて歯か」という回答があった。

２　協議事項

（１）　渡島保健所歯科保健地域診断事業について

う蝕発生のリスク要因や歯科保健に関する地域の実態を明らかにし、市町における歯科保健対策の向上に資することを目的とし、令和２年度に標記事業を実施した。令和２年４月～１２月までのデータを集計した中間報告から明らかになった生活習慣のむし歯と関連する要因としては、甘いおやつの摂取頻度、夕食（風呂上り）後の甘いおやつ・ジュース等の飲食、ほぼ毎日（週５日以上）飲食するおやつ、甘味飲料の摂取量等であった。

調査結果に対する率直な感想、これらの課題を改善するための対応策、対策後の効果判定（評価）について意見を求め、意見を基に事務局で協議し、アンケートを継続することとした。調査実施間隔については、事務局で検討する。

【委員の意見等】

・むし歯と生活習慣は関連性が高いことを再認識した。

・農業・漁業など地域産業の特色が、子ども達の生活習慣に影響している事を感じた。都市での養育環境の違い、意識の違いも感じられた。

・出生前からの指導（妊産婦）、幼児健診前の乳児期、1 歳 6 か月・3 歳児健診時に食習慣、生活習慣と関連付けて指導する。

・甘いおやつの摂取頻度は栄養相談が中心だったが、歯科としてポピュレーションアプローチしていきたい。歯だけの指導ではなく、全身的な健康指導も併せて必要。

・個別の指導も効果的ではあるが、ポピュレーションアプローチの継続も必要かと思う。